

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																													
専門学校 未来ビジネスカレッジ		昭和61年10月30日		田中 正吉		〒390-0841 長野県松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500																													
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																													
学校法人未来学舎		昭和61年10月30日		理事長 青山 織人		〒390-0841 長野県松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500																													
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																														
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル・ホテル学科		平成21年文部科学省 告示第22号	-																														
学科の目的	ブライダル・ホテル学科では、WBW認定ウエディングスペシャリスト、ホテル実務技能検定の資格取得を目指すとともに、ブライダル、ホテル業界で即戦力として活躍できる人材、また高いコミュニケーション能力とホスピタリティ、マナーを身に付けた人材育成を目的とする。																																		
認定年月日	平成27年2月17日																																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																												
2年	昼間	62	24	14	40	-	-																												
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																													
60人		27人	0人	2人	5人	7人																													
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席数(1単位につき90分授業15回以上の出席)、授業態度、期末試験・期末課題等により、秀、優、良、可、不可の5段階評価																														
長期休み	■学年始: 4月1日～4月9日 ■夏季: 7月28日～8月27日 ■冬季: 12月22日～1月7日 ■学年末: 2月20日～3月31日			卒業・進級条件	■進級条件: なし(単位制) ■卒業条件: 62単位以上取得																														
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ■長期欠席者への指導等の対応 ①担任教員の個別面談、学生への電話、メール ②担任教員の家庭連絡、父母等面談 ③学校長・副校長・学部長面談 ④個別カウンセリング(外部連携)			課外活動	■課外活動の種類 ■課外活動の種類 学校祭、スポーツ大会(年1回) 運動会(年1回)、学科研修旅行  ■サークル活動: 有																														
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和4年度卒業生) 専門式場、ホテル、旅館等  ■就職指導内容 就職適性診断、職業レディネステスト、個別面談等をふまえたキャリアプランニング指導、就職試験(一般常識、面接)指導、模擬面接、就職ラリーの実施、企業情報提供、企業人・卒業生の講演など。 ■卒業生数 : 21 人 ■就職希望者数 : 21 人  ■就職者数 : 21 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %  ■その他 ・進学者数: 0人			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業者にに関する令和5年6月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定ウエディング スペシャリスト</td> <td>③</td> <td>14人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>認定ウエディング プランナー</td> <td>③</td> <td>20人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>認定ドレスコーディネーター</td> <td>③</td> <td>21人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>ブライダルコーディネート技能検定3級</td> <td>①</td> <td>20人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>ホテル実務技能検定上級</td> <td>③</td> <td>7人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>レストランサービス技能検定</td> <td>①</td> <td>19人</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	認定ウエディング スペシャリスト	③	14人	14人	認定ウエディング プランナー	③	20人	19人	認定ドレスコーディネーター	③	21人	19人	ブライダルコーディネート技能検定3級	①	20人	20人	ホテル実務技能検定上級	③	7人	7人	レストランサービス技能検定	①	19人	18人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																
認定ウエディング スペシャリスト	③	14人	14人																																
認定ウエディング プランナー	③	20人	19人																																
認定ドレスコーディネーター	③	21人	19人																																
ブライダルコーディネート技能検定3級	①	20人	20人																																
ホテル実務技能検定上級	③	7人	7人																																
レストランサービス技能検定	①	19人	18人																																
(令和4年度卒業者にに関する 令和5年6月1日 時点の情報)																																			

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 2.6%</p> <p>令和4年4月1日時点において、在学者38名（令和4年4月1日入学者を含む） 令和5年3月31日時点において、在学者37名（令和5年3月31日卒業者を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>意欲欠如</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>①担任教員の個別面談、学生への電話、メール ②担任教員の家庭連絡、父母等面談 ③学校長・副校長・学部長面談 ④個別カウンセリング(外部連携) ⑤各種心理検査の活用</p>
<p>経済的支援制度</p>	<p>■学校独自の奨学金制度： 有</p> <p>特待生制度(学業優秀者への奨学金給付制度 入学時及び2年進学時) 資格・検定支援金制度 家族入学優遇制度 学費分納制度</p>
<p>第三者による学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無</p>
<p>当該学科のホームページURL</p>	<p>URL : <a href="http://www.mirai.ac.jp/mit">http://www.mirai.ac.jp/mit</a></p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ブライダル、ホテル分野における専門人材育成に必要な基礎から応用・実践までの一貫した教育を施すため、業界企業等の外部人材を活用し、より実践的な教育課程編成及び授業内容を編成する。そのため、学校と業界企業等が参画する教育課程編成委員会を設置する。委員会は「教育課程編成の再検討、授業内容の改善・工夫」を主とし、教務部の指導・助言機関として位置づける。委員会での協議事項について、教務部で検討した結果を以後の教育課程編成及び授業内容に反映することを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学科は、委員会において学期および年度における「教育課程の成果・反省点・問題点」などについて報告を行う。これを受けて、委員会は「教育課程編成の再検討、授業内容の改善」などを提言・助言する。委員会からの提言や助言を受けて、教務部は検討を行い、必要に応じて当該学科の「次学期・次年度の教育課程、授業内容の見直し」などを行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
蒲生 悟	株式会社アステップ信州 レアールドセゾン セージ支配人	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	①
西村 明美	株式会社たちばな	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	③
大槻 俊子	学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ 学科長		
百瀬 久美子	学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ 学科職員		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、2月)

(開催日時(実績))

第18回 令和4年10月7日 16:00～17:00

第19回 令和5年3月2日 11:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

令和5年度に卒業研究から検定資格対策授業に変更予定。就職後の実務でより活かせる検定を取得する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本学科において、より実践的かつ専門的な高度職業教育を行うために、学校と企業・業界団体等が講師契約を締結し、その連携のもと、ブライダル・ホテル業界の人材育成ニーズに沿った教育課程に基づき、外部講師による実践教育の機会を提供し、ブライダル・ホテル関連のスタッフとしての職業観・勤労観を育むとともに、知識と技術の向上を図ることを企業等の連携に関する基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

連携企業2社の講師による下記の授業内容を実施。実習態度と実習技能レベルにより5段階評価。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ブライダル実務1	信州ブライダル協議会会員の各企業のスペシャリストより、ブライダル業界および関連職務について学習し、業界への理解を深め実践力と応用力を身につけることを目的とする。仕上げとして、実際の挙式・披露宴を学生自身がプロデュースし、企画・運営全てに携わる。実習は、契約講師が実技指導を行い、学科教員は授業が円滑に運営できるよう支援する。 学修評価については、契約講師が【実習態度・実習技能レベル】を5段階評価する。	一般社団法人 信州ブライダル協議会
和装コーディネート1	きものの文化や名称、保管法を学習し、振袖、ゆかたの着付技術の習得を目的とする。きものについての現状と着付け時のマナー、美しく着崩れしないボディづくり等、きものに関する知識を深め、2人1組で実習を行う。実習は、契約講師が実技指導を行い、学科教員は授業が円滑に運営できるよう支援する。 学修評価については、契約講師が【筆記試験及び実技試験】実施し、5段階評価する。	株式会社 たちばな

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

研修は、教職員に対し、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に関わる職業の遂行に必要な知識又は技能を習得させ、その遂行に必要な能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。本学科に関してはブライダル、ホテル関連職に必要とされる、実践的かつ専門的な能力を育成するために必要な知識、技術、技能などについて実施される。関係団体、職能団体及び企業等が実施する研修、セミナー、各種展示会(業界動向調査)等に積極的に教員を参加させる。さらに、指導力の修得・向上等の研修にも参加させることを基本方針とする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

① 研修名「第25回ブライダル講師のための勉強会」(連携企業等:ウエディングスビューティフル協会)

期間:令和4年8月25日(木) 対象:ブライダル講師

内容:コンセプトウエディングと花嫁の“自分スタイル”を叶えるドレススタイリストの業務

② 研修名「第26回ブライダル講師のための勉強会」(連携企業等:ウエディングスビューティフル協会)

期間:令和5年3月23日(木) 対象:ブライダル講師

内容:ブライダルジュエリー業界に進むために必要な知識とは

2023年度WBJ認定試験改訂版 改定内容と回答ポイント

③ 研修名:「改正障害者差別解消法に向けて企業が取り組むべきこと」(連携企業名:株式会社ミライロ)

期間:令和5年3月15日(水) 対象:ホテル講師

内容:2023年4月から法改正になる趣旨を踏まえ、企業が把握しておきたいリスクや果たすべき役割について

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「SNSの危険性とその留意点」 (主催:セーフティネット総合研究所)

期日:令和4年4月8日(金)

内容:ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)が普及し、コミュニケーションツールとして汎用する中で、安易な書込みがトラブルに発展したり、知り合い同士の空間であるという安心感を利用して詐欺やウイルスの配布を行う事例がある。SNSの危険性とその留意点についての情報を学生に指導するために受講した。

研修名「ハラスメント研修」 (講師:弁護士 出井博文氏)

期日:令和5年3月22日(水)

内容:各種ハラスメントを理解し、また、県内外の事例を知ることで、学生指導や保護者対応の参考とし、学生が安心して学校生活を送れるように、また、職場の人間関係も円滑となるよう受講した。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

① 研修名「ブライダル講師勉強会」(連携企業等:ウエディングスビューティフル協会)

期間:8月、12月、3月 対象:ブライダル講師

内容:実務に関する勉強会

② 研修名「ユニバーサルマナー2級分割受講コース」(連携企業等:株式会社ミライロ)

期間:令和5年日程未定 対象:ホテル講師

内容:車いすの操作方法やサポートの仕方を様々な当事者体験を通して学び、多様な方々への適切なサポート方法そ習得する

② 指導力の修得・向上のための研修等

① 研修名「個人情報保護」 (連携企業等:一般社団法人 セーフティネット総合研究所)

期間:令和5年4月 対象:専門学校未来ビジネスカレッジ教職員

内容: SNSの危険性とその留意点 一般社団法人 セーフティネット総合研究所

研修名「SNSの危険性とその留意点」 (主催:セーフティネット総合研究所)

期日:令和5年4月7日(金)

内容:前年度に引き続きSNSの危険性とその留意点についての最新情報等を学生に指導するために受講する。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価については、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」をもとに、自己点検評価表を策定し、その自己点検評価表の適性を学校関係者評価委員会により点検・評価する。当該委員会の議論および意見をもとに作成した「学校関係者評価報告書」を学校長が再点検の上、次年度の学校運営に反映させる方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献

※(10)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・各種規定整備とコンプライアンス等のマニュアル整備の必要性についてご指摘をいただいております。今年度についても各種の規定整備とコンプライアンス等のマニュアル整備を進めていく。
- ・科目アンケートについては年4回とし、各期の中間で科目担当者にフィードバックすることで期の後半より授業内容等に関する修正が可能となり授業の質向上に努めることができています。
- ・学修成果としての資格の取得率の向上や、各学科の成果を学校が積極的に発信していくことの重要性について毎年ご指摘をいただいております。本年度も引き続き学校全体で取り組み、一定の成果と社会からの評価をいただくことができました。
- ・SNS等の有効活用についてのご意見を頂いており、情報発信については今後も検討し効果的に活用していきたい。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
片瀬 拓弥	清泉女学院短期大学 教授	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	学識経験者
矢内 和博	松本大学	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	学識経験者
西村 明美	株式会社たちばな	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
林 兵司	パン工房 ブール	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
加藤 博史	医療法人社団敬仁会 桔梗ヶ原病院 放射線部 技師長	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
山田 佳代子	ポアレスチュール 代表	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
溝口 諒	でざいんと 代表	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
北村 理恵子	Dog Life Lien 事業主	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
田中 優子	卒業生同窓会 会長	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL: <http://www.mirai.ac.jp/mit/>

公表時期: 令和5年6月1日



授業科目等の概要

(商業実務専門課程ブライダル・ホテル学科) 令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	○		情報リテラシー1	ワープロ検定の問題を解きながら、タイピングの基礎、Windows操作、Wordによる文書作成および基本的なトラブルシューティングを習得する。習熟度に応じた検定を受験	1 前	30	1			○	○		○		
	○		情報リテラシー2	ワープロ検定および文書デザイン検定の問題を解きながら、タイピングの基礎、Windows操作、Wordによる文書作成および基本的なトラブルシューティングを習得する。習熟度に応じた検定を受験	1 前	30	1			○	○		○		
	○		情報リテラシー3	文書デザイン検定、表計算検定の問題を解きながら、効率的なデータ入力、ワークシート編集、関数を利用した計算式の入力、グラフ作成等について習得する。習熟度に応じた級の検定を受験。	1 後	30	1			○	○		○		
	○		情報リテラシー4	表計算検定の問題を解きながら、効率的なデータ入力、ワークシート編集、関数を利用した計算式の入力、グラフ作成等について習得する。習熟度に応じた級の検定を受験。	1 後	30	1			○	○		○		
	○		情報リテラシー5	プレゼンテーション検定の問題を解きながら、プレゼンテーション作成の練習や画像加工等を習得する。習熟度に応じた級の検定を受験。	2 前	30	1			○	○		○		
	○		キャリアプランニング1	キャリア教育の一環として、ライフデザインの考え方、他者とのコミュニケーションの取り方、労働法と社会保険の基礎を学ぶ。	1 前	30	1	○			○		○		
	○		キャリアプランニング2	就職活動の円滑な進め方を学ぶ。履歴書作成、電話対応、企業情報の取得方法、面接指導などを実施する。	1 後	30	1	○			○		○		
	○		キャリアプランニング3	社会人としての心構え、履歴書の書き方、電話対応・面接の再練習、企業情報の提供など、就職活動のためのサポートを行う。	2 前	30	1	○			○		○		
	○		実務教養1	就職試験対策や企業に入る前に必要な一般教養を修得する。【英会話、サービス接遇マナー、経済学、経営学、心理学、販売学、時事問題、就職用SPI対策、漢字検定対策、数学検定対策など】	1 前	30	1	○			○		○		





○	○	○	ブライダルプランニング1	日本のウェディングの歴史、慣習、スタイルなどの基礎を学習する。またウエディングプランナーの業務の流れと、挙式施行方法、進行管理についての知識を身に付ける。	1前	60	2					○	○		○		
○	○	○	ブライダルプランニング2	実際の挙式・披露宴の企画から打ち合わせ、婚礼施行・進行管理までを学生自身が行い、結婚式全体をプロデュースする。企画力、提案力、接客マナーを実践的に学習する。	1後	60	2					○	○		○		
○	○	○	ブライダルプランニング3	ウエディングプランナーの業務の流れと、挙式施行方法、進行管理についての知識を身に付ける。またウエディングプランナー認定試験の合格を目指す。	2前	60	2					○	○		○		
○	○	○	ブライダルプランナー演習	国家資格ブライダルコーディネーター技能検定3級試験対策。結婚式の基礎知識とお客様対応を学ぶ。	2後	60	2					○	○		○		
○	○	○	ブライダル総論	ブライダルの基礎から専門知識、挙式・披露宴の流れなど、オリジナルウエディングに必要なプランニング技法を学習する。WBJ認定ウエディングプランナー検定の資格取得を目標とする。	2前	60	2	○					○		○		
○	○	○	宿泊サービス	ホテルの宿泊部門の基礎を学び、フロント業務、ベル業務の実技を中心に、お客様対応と電話対応を学ぶ。	1通	30	1	△	○				○		○		
○	○	○	料飲サービス1	ホテルのレストラン部門、宴会部門の基礎を学び、備品の名称や配膳の実技を習得する。	2通	30	1	△	○				○		○		
○	○	○	料飲サービス2	ホテルのレストラン部門、宴会部門の基礎を学び、備品の名称や配膳の実技を習得する。	2通	30	1	△	○				○		○		
○	○	○	ホテル総合演習1	ホテル業務全般を学習し、業務に必要な接客サービスからビジネスマナーまで、あらゆるシーンに対応できる接客術を習得する。ホテル実務技能検定の資格取得を目標とする。	1前	30	1		○	△			○		○		
○	○	○	ホテル総合演習2	ホテル業務全般を学習し、業務に必要な接客サービスからビジネスマナーまで、あらゆるシーンに対応できる接客術を習得する。ホテル実務技能検定の資格取得を目標とする。	1後	30	1		○	△			○		○		

○	ホテル総合演習3	ホテル業務全般を学習し、業務に必要な接客サービスからビジネスマナーまで、あらゆるシーンに対応できる接客術を習得する。ホテル実務技能検定の資格取得を目標とする。	2前	30	1			○	△	○		○		
○	ホテル総合演習4	ホテル業務全般を学習し、業務に必要な接客サービスからビジネスマナーまで、あらゆるシーンに対応できる接客術を習得する。ホテル実務技能検定の資格取得を目標とする。	2後	30	1			○	△	○		○		
○	レストランサービス実習1	国家資格レストランサービス技能検定3級検定対策。西洋料理の接客マナーを正しく身に付け食事の楽しさや心に残る時間を演出するホテル内レストランにおける接客サービスを学ぶ。	1前	30	1					○		○		○
○	レストランサービス実習2	国家資格レストランサービス技能検定4級検定対策。西洋料理の接客マナーを正しく身に付け食事の楽しさや心に残る時間を演出するホテル内レストランにおける接客サービスを学ぶ。	1前	30	1					○		○		○
○	レストランサービス実習3	国家資格レストランサービス技能検定5級検定対策。西洋料理の接客マナーを正しく身に付け食事の楽しさや心に残る時間を演出するホテル内レストランにおける接客サービスを学ぶ。	1後	30	1					○		○		○
○	レストランサービス実習4	国家資格レストランサービス技能検定6級検定対策。西洋料理の接客マナーを正しく身に付け食事の楽しさや心に残る時間を演出するホテル内レストランにおける接客サービスを学ぶ。	1後	30	1					○		○		○
○	レストランサービス実習5	国家資格レストランサービス技能検定7級検定対策。西洋料理の接客マナーを正しく身に付け食事の楽しさや心に残る時間を演出するホテル内レストランにおける接客サービスを学ぶ。	2前	30	1					○		○		○
○	レストランサービス実習6	国家資格レストランサービス技能検定8級検定対策。西洋料理の接客マナーを正しく身に付け食事の楽しさや心に残る時間を演出するホテル内レストランにおける接客サービスを学ぶ。	2前	30	1					○		○		○
○	ホテル概論	マーケティング理論の習得 ポーターの経営戦略理論の習得 ホテル・ブライダル業における経営戦略立案	1前	30	1			○				○		○
○	料飲概論	食品に関する一般的な知識、西洋料理に使用される食材、調理法、飲料知識の習得。	1前	30	1	○						○		○

○	外国語	中国語の正しい発音、声調の基本と会話の基礎を学ぶ。	2 後	30	1		○	○		○			
○	ドレスコーディネーター1	ドレスコーディネーターに必要な、衣裳全般の基礎知識、コーディネート技法、接客方法を習得する。WBJ認定ドレスコーディネーター検定の取得を目標とする。	2 前	60	2	○		○		○			
○	ドレスコーディネーター2	ドレスコーディネーターに必要な、衣裳全般の基礎知識、コーディネート技法、接客方法を習得する。WBJ認定ドレスコーディネーター検定の取得を目標とする。	2 後	30	1	○		○		○			
○	パーティープランニング1	日本の4つの挙式スタイルの基礎を学習し、模擬人前式、模擬チャペル式または校内挙式の企画から施行をし、挙式の流れを理解する。オリジナル挙式の企画力と提案力を身に付ける。	1 前	60	2			○	○		○		
○	パーティープランニング2	日本の5つの挙式スタイルの基礎を学習し、模擬人前式、模擬チャペル式または校内挙式の企画から施行をし、挙式の流れを理解する。オリジナル挙式の企画力と提案力を身に付ける。	2 前	60	2			○	○		○		
○	美容実習	サービス業に携わるための身だしなみとしてのセルフメイクやブライダルメイクの技術を身に付ける。	1 前	30	1			○	○		○		
○	カラーコーディネート1	テーブルコーディネートやファッションなどに活かせる、色彩論、色相、トーンなどの色彩基礎知識を学ぶ。色彩検定等の取得を目標とする。	2 前	30	1	○		○		○			
○	カラーコーディネート2	テーブルコーディネートやファッションなどに活かせる、色彩論、色相、トーンなどの色彩基礎知識を学ぶ。色彩検定等の取得を目標とする。	2 前	30	1	○		○		○			
○	衛生学	食品に関する一般的な知識、公衆衛生に関する一般的な知識の習得。	1 後	30	1	○		○		○			
○	サービス論1	宴会の種類及び運営とレストランサービスに関する一般的な知識の習得。	1 後	30	1	○		○		○			
○	サービス論2	宴会の種類及び運営とレストランサービスに関する一般的な知識の習得。	2 前	30	1	○		○		○			
○	メディアデザイン	プロフィールビデオやエンドロール等の映像制作、インターネット等各種メディアでのデジタルコンテンツ制作・活用等について学習する。	1 後	30	1		△	○	○		○		
○	ユニバーサルマナー	全ての人に公平な情報とサービスを提供するための知識を身に付ける。ユニバーサルマナー検定3級の取得を目標とする。	1 前	30	1	○		○		○			

○	学外実習	テーマパークオフィシャルホテルなどでのサービス研修を通して、職務への理解を深め、ホスピタリティを身に付ける。	1・2通	60	2				○	○	○			
○	卒業研究・制作1	2年間の学習を通して得た知識を活かし、業界研究や制作を行う。	2後	30	1		△	○	○	○				
○	卒業研究・制作2	3年間の学習を通して得た知識を活かし、業界研究や制作を行う。	2後	30	1		△	○	○	○				
○	卒業研究・制作3	4年間の学習を通して得た知識を活かし、業界研究や制作を行う。	2後	30	1		△	○	○	○				
○	卒業研究・制作4	5年間の学習を通して得た知識を活かし、業界研究や制作を行う。	2後	30	1		△	○	○	○				
○	総合実習1	TOEIC対策。単語の基礎を学習と発声練習を行いスコアアップを目指す。	1前	30	1			○	○	○				
○	総合実習2	TOEIC対策。単語の基礎を学習と発声練習を行いスコアアップを目指す。	1後	30	1			○	○	○				
○	総合実習3	TOEIC対策。単語の基礎を学習と発声練習を行いスコアアップを目指す。	2前	30	1			○	○	○				
○	総合実習4	TOEIC対策。単語の基礎を学習と発声練習を行いスコアアップを目指す。	2後	30	1			○	○	○				
○	総合実習5	授業で身につけた知識や技術を、企業等（ホテルや専門式場等）の現場で実践し、専門スタッフとしての総合力を身につける。	1・2通	30	1			○	○	○				
○	総合実習6	授業で身につけた知識や技術を、企業等（ホテルや専門式場等）の現場で実践し、専門スタッフとしての総合力を身につける。	1・2通	30	1			○	○	○				
○	総合実習7	授業で身につけた知識や技術を、企業等（ホテルや専門式場等）の現場で実践し、専門スタッフとしての総合力を身につける。	1・2通	30	1			○	○	○				
合計				33科目		1860単位時間( 62単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：62単位以上の単位取得		1学年の学期区分	2期
履修方法：【必修科目】2単位，【選択必修科目】60単位		1学期の授業期間	17週
単位制履修に関する留意事項 ①30単位時間を1単位とする。1年間に取得できる単位は最大45単位までとする。 ②単位数が2以上の科目は、30単位時間の倍数で任意に分割して履修させることがある。			

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。